

「主な取組」検証票

施策展開	2-(4)-ウ	安全・安心に暮らせる地域づくり	施 策	③20歳以上の者の適正飲酒及び少年の飲酒防止対策の推進
			施策の小項目名	○20歳未満の者の飲酒の危険性・有害性に関する教育・広報啓発
主な取組	青少年健全育成事業（飲酒の危険性・有害性関連）		対応する成果指標	泥酔者保護件数
施策の方向	・少年に対し、教育委員会や学校、警察、保護者、地域等が連携し、飲酒の内容も含めた非行防止教室において、その危険性・有害性の教育・広報啓発に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R7	R8	R9
薬物乱用防止教室を通じた違法薬物の危険性や飲酒の有害性について、広報啓発活動を推進する。	県	飲酒の危険性、有害性に関する非行防止教室の開催		
		飲酒の内容も含めた非行防止教室の実施(累計)		
		267回	267回(534回)	267回(801回)
担当部課【連絡先】	県警本部生活安全部少年課		【 098-862-0110 】	関連URL
				—

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)				
予算事業名		非行少年を生まない社会づくり			予算事業名		非行少年を生まない社会づくり	
主な財源	実施方法	R6年度 決算額	R7年度 決算見込額		R8年度			
					主な財源	実施方法	当初予算額	
県単等	直接実施	154, 240	168, 638		県単等	直接実施	178, 775	
令和7年度活動内容				令和8年度活動計画				
薬物乱用防止教室を通じた違法薬物の危険性や飲酒の有害性について、広報啓発活動を実施した。				薬物乱用防止教室を通じた違法薬物の危険性や飲酒の有害性について、今後も広報啓発活動を実施する。				

活動指標名	飲酒の内容も含めた非行防止教室の実施(累計)		R7年度			進捗状況	活動概要
実績値	R5年度	R6年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
	—	—	343回	267回	100.0%	順調	安全学習支援隊を中心に各警察署において、小学生から高校生まで幅広く薬物乱用防止教室を開催し、違法薬物の危険性や飲酒の有害性について、広報啓発活動を実施した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

令和7年中における安全学習支援隊等による薬物乱用防止教室は343回、延べ76,621人（前年比33回増加、2,664人増加）に対して実施し、令和6年度と比較して開催回数、人員も増加し、目標値も達成している。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和7年度の取組改善案		反映状況
○ 児童・生徒に対する薬物乱用防止教室を通じて、覚醒剤、大麻等の違法性、飲酒・喫煙が身体に与える有害性などについて、広報啓発活動を強化する。		令和6年度と比較して、令和7年度中の非行防止教室の開催回数は33回増加し、延べ人数についても2,664人増加していることから、児童・生徒に対する薬物の乱用、飲酒の危険性に係る効果的な広報啓発活動に取り組んでいる。

3 取組の検証 (Check)

類型	内容
⑦ その他内部要因 (改善余地の検証等)	令和7年中の不良行為で補導された少年は4,642人（前年比432人増加）であるが、その内飲酒補導された少年は549人（前年比7人減少）と、全体が増加傾向にある中、減少している。

4 取組の改善案 (Action)

類型	内容
⑤ 情報発信等の強化・改善	児童・生徒に対する薬物乱用防止教室を通じて、飲酒・喫煙が身体に与える有害性や、違法薬物乱用のきっかけにつながることなどの広報啓発活動を強化する。